

## <今朝の聖書から>

村上定幸

【努力と熱心】元旦です。全ての人は多かれ少なかれ、“新たに”ということを感じておられることなのでしょう。良いことも悪い経験も含めて新たにという言葉が聞かれ、また思うものです。ですからその背景には必ず今までの年、去年があります。そして大切なことは、私だけの昨年ではなく、その私の昨年も、社会全体の昨年も引き継いでいることとなります。福島第一原発の事故を思い出してみればはつきりすると思います。みな自分のチャレンジすべきことを心に浮かべただけではなく、そのビジョンも解決・克服すべきことも環境のように与えられているのです。今の技術をもってしては何ともならない、放射性物質というものに、改めて向き合ってしまった。そして、チェルノブイリでは、廃村になってしまったようなところに、再び人が住むことが出来るようにしようとしています。人類が経験したことのないことですが、廃村ではなく廃炉に向けて進もうとスローガンを掲げています。反応が完全に完了するまで、どんな化学変化を用いようともなくならない放射性物質を除染と称して、薄めてしまうのではなく、なくしてしまうことが出来るかのように、思ってははいけません。私は長いこと情報業界にいましたが、“新しくデータを加工する場合は、元の状態に復旧できる保証をしなければならない”という鉄則があります。一つの真理です。

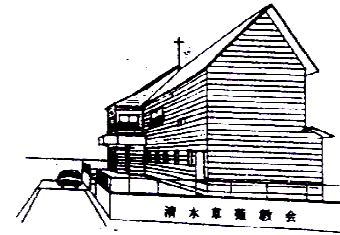
【引き継いでいる】去年はその前の年を、そして新しい年は去年を“引き継いで”行くのです。私たちが引き継いで行くのは、実は、神の歴史が我々にお与えになったものだといえます。それだけ重要なものであり、ひらたく言えば、粗末に出来ないものですし、重大でもあり、捨て去ることも出来ないものです。なお且つ我々は、新しい年に色々な意味で願うのです。しかし我々に何ほどのものが作れるでしょうか。願い求め、与えられたものをうけつぎ、そして伝えていくようです。

【偉そうなこと】“私の学んだことや技術を伝えていきたい”と、学校の先生から聞いたことがあります。まだ二十歳代だったので、“何を生意気に偉そうな”と思ったのですが、何となく分かるような気がします。お金にならなくてもいいから、先生をしたいというわけです。どうやら、そのように生きるのが主の思し召しかもしれません。

【継承】継承は受け継ぎ、伝えることとは、信仰の生活においてもいえることです。信仰と言わなくても全生活がそうです。それが正しくなされなければ実に惨めな結果をもたらすこととなります。中身がなければ伝えることもできないのは当たり前です。ヨハネは、旧約聖書の全てを受け継ぎ、声を張り上げて証しをします。“ヨハネは、この方について証しをし、声を張り上げて言った。『わたしの後から来られる方は、わたしより優れている。わたしよりも先におられたからである』とわたしが言ったのは、この方のことである。”(1:15)と叫ぶのです。これが受け継がれなければ聖書はとっくの昔になくなっています。ヨハネは“恵みと真理がイエス・キリストから来たこと”をバプテスマのヨハネが証した(1:17)と、詳しく伝えます。“トマスは答えて、「わたしの主、わたしの神よ」と言った(20:28)”とトマスが告白した教会の基を、いま私たちは受け継ぎ、信じ、希望の源泉として踏み出そうとします。勇気を出しましょう。

# 週報

2012年 1月 1日



伝えよう 救い主を  
迎えよう 主の民を

日本フリーメソジスト

## 清水草薙キリスト教会

牧師 村上 定幸

ユース礼拝	毎日曜日	午前 9:00
礼拝式	毎日曜日	午前 10:30
	(聖餐式 第一日曜日)	
夕礼拝式	毎日曜日	午後 7:00
エステル一会	毎水曜日	午前 10:30
聖書研究祈禱会	毎水曜日	午後 7:00
ホームページ	<a href="http://kusanagi.church.jp/">http://kusanagi.church.jp/</a>	

〒424-0885

静岡県清水区草薙杉道3丁目2-26

☎054-345-4070 E-Mail [grace@big.jp](mailto:grace@big.jp)

振替口座 00890-6-214042